



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

えっ！健康保険証が無くなるの？

健康保険証の存続を、生健会学習会開催

10月15日、埼玉県保険医協会事務局長の田中優（たなかゆう）氏を講師に、「マイナンバーカード学習会／健康保険証の存続を」が、ぽぽら春日部でおこなわれ、約30人が参加しました。

主催である春日部生健会の品田会長、松伏・越谷生健会準備会の事務局長、埼玉県保険医協会の副理事長で開業医の渡部医師も参加し、挨拶をおこないました。

保険証を残してほしい
開業医の95%

24年秋から健康保険証を

しんぶん赤旗日曜版10月22・29日号は合併号となり、29日は休刊となります。

廃止する「保険証廃止法（マイナンバー法改正法）」が今年6月に国会で成立しました。

これは単に紙の保険証がマイナンバーカードに一体化され、マイナ保険証に代わるだけではありません。

田中氏は「保険診療を担当する医師・歯科医師を開業保険医と言いつ、埼玉県保険医協会は、4300人の保険医が会員です。協会調べでは開業医の95%が保険証が必要である、と回答しています。

保険証を無くすことは昨年の10月にデジタル庁の河野大臣が非常に短期間で決定しました。健康保険制度が壊れて

しまう大変重要な法の改悪です。本日はこの点についてお話しします。保険証を残すためのとりくみをさらに広げてほしい。」と述べました。

保険証廃止の問題点について概要は以下の通りです。

保険証廃止は健康保険制度を壊す

① “いつでも、どこでも、誰でも医療機関を受診できる”日本が誇る国民皆保険制度は政府や産業界も望んできま

したが、保険証廃止で医療にかかれぬ人が出てきます。

② 全ての国民に保険証が届けられることが皆保険制度の前提で義務となっています。

③ 廃止法の問題点では、申請手続きが必要なため、申請漏れなどで保険証が届かない、無保険の方が必ず出てきます。

④ 医療DXの推進は国の意思決定の元で行政と産業界が

一丸となって国民の生涯の保健医療データを二次利用し産業の振興に資するもの。情報開示の選択ができません。

田中氏は以上のような問題点について二時間にわたって講演しました。また、現場の医師からは「今の保険証で困っていることは何もないのになぜ廃止をするのか。義務化されたカードリーダーの設置をしなければ、保険医資格をなく奪するという理不尽な喝も受けています。トラブルが増えて診療ができなくなるなど、現場から悲痛な声が上がっています。マイナ保険証は任意取得ですので、慌てて一体化する必要はありません」という発言もありました。

まだ間に合います。「現行の保険証を残してほしい」という声を広げていきたいと思います。みなさんの命と健康を守るために署名にご協力ください。

＜生活相談は日本共産党へ＞

並木としえ TEL737-4576 大野とし子 TEL746-6136 今尾やすのり TEL761-3676 木下みえ子 TEL734-4677

日本共産党市議団ホームページ

https://www.jcp-kasukabe.jp/



核兵器のない平和な世界を

原水爆禁止世界大会報告会

10月15日、春日部原水爆禁止協議会が視聴覚センターで「原水爆禁止2023年世界大会報告会」をおこないました。

春日部から長崎大会に参加した埼玉土建春日部支部の槇島寛実さん、春日部教職員組合の小菅昇さんの2名が大会の様子や感想などを報告しました。

被爆者・若い世代とともに未来を

原水爆禁止世界大会は、新型コロナウイルスの影響でオンライン中心でおこなってきたが、今年は4年ぶりに世界中から参加する世界大会が長崎で開催されました。当初、8月7日から9日を

予定していましたが、台風接近の影響で日程を変更し、7日に開会総会、8日は分科会と閉会総会をおこなって閉会となりました。

閉会総会で採択された「長崎からの呼びかけ」は「すべての国の政府に対し、核兵器禁止条約への支持と参加を求める」

●被爆の実相を広め、核兵器の非人道性を告発すること、被爆者、若い世代とともに未来を切り開いていきましょう」と呼びかけています。

どんな未来を子どもたちに手渡すのか

小菅さんは、遺跡巡りで被爆したクスノキが枯死寸

前に奇跡的に新芽を芽吹き、その後、地元中学生の献身的な努力でよみがえり、今も山王神社境内に力強く根を下ろしていること、閉会総会で協同病院のsamba9条の会が生まれたばかりの赤ちゃんの足型がちりばめられたタペストリーを掲げて

「核兵器のない平和な未来を」と訴えたことを紹介し、「どんな未来を子どもに手渡すのかが問われていると強く感じた」と話しました。

槇島さんは、現在世界中には12000発の核兵器があり、ひとたび戦争に使われれば取り返しがつかない「核兵器をなくし、戦争のない平和な世界を実現したい」と語りました。

指導者任せでなく国民的運動が必要

指導者任せでなく国民的運動が必要

2人の報告の後、DVD

「核兵器『恐怖の均衡』が崩れるとき」を視聴しました。1986年、世界には約7万発の核兵器が保有されていますが、86年のゴルバチョフ・レーガン会談で核兵器廃絶が協議され、87年には「中距離核ミサイル全廃条約」が結ばれ、20年間7割の核兵器が廃棄されてきました。今、ロシアがこの条約から離脱し「核の使用も辞さない」と公言する中、核兵器は戦争を抑止するものでなく、世界を破滅させる—という内容のものです。

参加者からは「核兵器と人類は共存できない。一日も早く核兵器をなくすためには外交努力や信頼回復も大切だが、指導者任せでなく、核兵器廃絶を、という国民的運動が必要と感じた」などの感想が寄せられ、平和への決意を共有しました。



市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
10/22(日)菊池医院(内科系)大場923 TEL735-0311 あゆみクリニック(小児科系)
大枝400-4 TEL731-3283 山崎整形外科(外科系) 薄島1081-3 TEL763-5011
10/29(日)内田医院(内科系)上吉妻164 TEL748-0704 岡田医院(小児科系)
一ノ割2-6-21 TEL735-7848 内牧クリニック(外科系) 内牧3149 TEL755-2118